

↓第3部ほのほのコメディ劇場には子どもから大人まで市民も参加し、盛り上げました。



11.30



伊万里の食を楽しくアピールする石井末子さん（根っこの会）



林家さんの話で会場は笑いの渦に



## みんなの広場

### と 宝くじワクワクふるさと劇場 in 伊万里 びきりのお笑いに大満足

市制60周年を記念して、市民会館で宝くじワクワクふるさと劇場 in 伊万里が開催されました。全体は3部構成となっていて、『第2部トーク』と『第3部ほのほのコメディ劇場』には市民も出演。第3部では、11月16日に実施されたオーディションに合格した市民10人が、やや緊張しながらも懸命に吉本新喜劇のメンバーと共演し、会場からは大きな笑いと拍手が鳴り響きました。なお、これは宝くじの助成金により開催されたものです。

### 年 今年も『年末・年始特別警戒隊』が出発 の瀬のまちを事件や犯罪から守る

年末年始の事件や犯罪を防ごうと、伊万里警察署で、警察署や地域防犯ボランティア団体の関係者70人が出席し、特別警戒隊出発式がありました。今年、『いまりんモーモちゃん』が特別警戒隊長に任命され、防犯の啓発を行うほか、警察署員が金融機関やコンビニエンスストアなどを重点的に巡回します。この特別警戒は1月4日まで実施されます。

12.1



↑出発式終了後、警察署から一斉に巡回に向かうパトロールカー

↓「商品売るには、独自性と独創性が必要」と話す清水さん

11.27



### 6 6次産業化セミナー 次化で生産者の思いをつなげよう

農家の経営を多角化し収益率を高めるとともに、地域資源を生かし農山漁村の活性化を図ろうと、市民センターで、6次産業化セミナーが開催され、農家など約60人が参加しました。講師は、市6次産業化アドバイザーの清水秀生さん。6次産業化に関する基礎的な知識をはじめ、先進事例を紹介しながら、商品売るコツを伝授していました。

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所情報広報課広報係までご連絡ください。(☎23 43 13 広報係直通)

## 第23回市民音楽祭～ふるさとの明日を歌おう～ ふるさとの歌声の輪が広がった日

市民センターで、市制60周年を記念して『ふるさとの明日を歌おう』をテーマに『第23回市民音楽祭』が開催されました。今回は、オープニングゲストにモーモちゃんバンドを迎え、音楽を愛する市内の16団体236人が参加。日ごろの練習の成果を披露しました。会場には、ステージと観客が一体となって美しい歌声が響き渡っていました。



↑伊中プラスの伴奏で『伊万里讃歌8章終詩』を参加者全員で合唱

↓人権について意見発表する山下美咲さん(伊万里商業高校2年)



## 商業高校生徒会からの人権発信

市民センターで、『だれもが自分らしく輝くことのできる社会を目指して』をテーマに、伊万里商業高校生徒会が中心となり『ハートフルフォーラム2014 in 伊万里』が開催されました。『家族の絆』と題して、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会の平野フミ子さんによる講演が行われるなど、人権について身近に感じ、考え、学ぶ機会が提供されました。

## 地域に『笑顔』と『幸せ』を届けます

大坪町古賀地区で、氏神様『今岳大権現』の分霊の世話役(頭)を翌年の当番に引き継ぐ『頭わたし』がありました。これは、今年の豊作に感謝し、また、長寿や健康を願う祭りです。新しい世話役たちは、たっぷりと墨を塗った顔で衣装をまとい、大権現や神主、ほら貝吹きなどに扮して地区を練り歩き、各家庭や道行く人に笑顔を届けていました。



↑当番のくじを引き当て、地区内の巡行に向かう世話役たち

↓守り手の松明の火の粉を、サカキで払う攻め手の男たち(写真左)



## 新しい年の五穀豊穡と無病息災を祈る

二里町大里の神原八幡宮で『取り追う祭り』がありました。これは、毎年12月最初の卯の日の前夜に行われる伝統の神事で、地元の男たちが攻め手と守り手に分かれ、新米を丸く握った『御供さん』を奪い合いました。大勢の観客が見守る中、激しい攻防が繰り広げられ、御供さんは無病息災の縁起物として、奪取した攻め手から観客に振る舞われました。